TIC NEWS

vol. 93
2009.10

（財）とやま国際センター
〒930-0856　富山市牛島新町5-5
インテックビル4F（タワー111）
TEL（076）444-2500
FAX（076）444-2600
E-mail：tic@tic-toyama.or.jp
URL：http://www.tic-toyama.or.jp

みんなで考える“高校生ができる国際協力とは？”

～第８回　とやま国際塾～

７月18～19日の２日間、国立立山青少年自然の家で「とやま国際塾」を開催しました。県内高校生と海外技術研修員、留学生、国際交流員など総勢41名が集いワークショップ交流イベントを楽しみました。

とやま国際塾

日時：平成21年７月18日(土)～19日(日)
場所：国立立山青少年自然の家

１日目は「★世界発見★なるほどクイズ」で幕開け。クイズで富山県内の中の“世界”について学びました。また、各国出身者との交流、異文化を疑似体験するゲーム、音楽などをとおし、参加留学生・研修員の出身国や、富山県内の外国人住民について理解を深めました。

２日目は青年海外協力隊としてホンジュラスで活躍されていた坂下静香さんを講師に迎え、ホンジュラスでの体験談を聞いたあと、“高校生にできる”国際協力について考えました。

広く異文化に触れ、世界を感じた２日間でした。

●参加者の感想●

- 学校のALTとしか接したことがなかったが、今まで接したことのない国の人々と交流ができたので嬉しかった。
- 海外の人だけでなく、参加した他校の生徒とも仲良くなれて嬉しかった。
- 「高校生が何をできるか」というテーマでの話し合いはとても考えさせられた。大きな事業はできなくても、アイディアを出し合うことでできることは多くあり、可能性はどんどん広がるのだと思った。
- 国際協力について難しく考えていたが、趣味に社会性を持たせるとボランティアになるということを学び、それほど難しいことではないとわかった。
- ボリビアの音楽は最高でした。楽しかったです。チャランゴ演奏は素晴らしかった。
- このような活動をとおして世界の輪を作っていくのは楽しいと感じました。
- 自分達で考えたことを実行していきたいと思いました。
- 国際塾をとおして、さらに異文化や外国語に興味を持つことができた。
- 学校ではできない貴重な体験だった。

小学生の英語教育事業

英語教育セミナー
～小学校に英語がやってくる～

日時：平成21年７月25日(土)
場所：環日本海交流会館

英語教育に関心のある小学生の保護者などを対象にセミナーを開催しました。富山大学人間発達学部准教授　岡崎浩幸氏を講師としてお迎えし、２年後から実施される“小学校外国語活動”について、他国の状況や英語教育特区で先駆けて実施されている活動の効果についても触れながら説明していただきました。「コミュニケーション能力の素地を養うこと、英語に慣れること」が目的であり、家庭での取り組みにおいてもこのことを理解することが大切だとのことでした。

夏休みこども英語塾

日時：平成21年８月17日(月)、18日(火)、20日(木)、21日(金)
場所：環日本海交流会館

英語での簡単な自己紹介にはじまり、時間の言い方、体の部分、感情を表す英単語などをゲームや歌などを取り入れて楽しく学びました。最初は緊張気味だった子供たちも、体を動かしながら少しずつ緊張がとけ、笑顔で活動に取り組んでいました。

講師の国際交流員アレクサンドラ･コーツさんからは「小さいうちから楽しく英語に親しんでほしい」との言葉がありました。

多文化共生サポーター養成講座

日時：平成21年７月26日(日)、８月１日(土)、２日(日)、８日(土)
場所：小杉社会福祉会館(７/26のみ)、射水市中央図書館

小島祥美氏の講義
「外国籍のこどもの教育は？」

とやま国際センターが中心となり立ち上げた「外国籍こどもサポートプロジェクト」も今年で３年目となり、昨年開設した「多文化こどもサポートセンター（放生津)」は、毎週土曜日の午前に外国人児童が集まる場所として定着しつつあります。また、富山県では第２のサポートセンターの開設も計画しており、より多くのサポーターが求められています。

そんな中、とやま国際センターでは全４回の多文化共生サポーター養成講座を開催しました。講座では、多文化共生に関する基本的な知識、外国人児童生徒の実態や富山県内での多文化共生事業を紹介しました。

講師にNPO多文化共生センター大阪代表理事の田村太郎氏、県国際・日本海政策課の柴垣係長、とやま国際センターの外国人相談員 辺見ジュリア氏、外国人児童生徒支援員　艾　玉霞氏、愛知淑徳大学講師 小島祥美氏、富山YMCAの中山美幸氏、ワイワイにほんご・たいこうやまの亀井あつ子氏を講師に迎え、射水市民国際交流協会の原 由理恵氏がファシリテーターを務め多文化共生に関するワークショップも実施しました。今年で３回目となる養成講座には43名が参加され、23名の方に修了証を交付しました。

日本語ボランティア・スキルアップ“じっせん”勉強会

日時：平成21年８月29日(土)、９月１日(火)、８日(火)、15日(火)、29日(火)
場所：環日本海交流会館

関口明子氏　外国籍子どもへの日本語支援について「かんじだいすき」シリーズを使って考える

外国籍子どもたちのための日本語支援―理論から実践へ―と題し、具体的な日本語支援の方法を学ぶ勉強会を全５回で開催しました。

現在、外国人児童への日本語教育をボランティアと連携で実施されている関口明子氏（(社)国際日本語普及協会)、富山で外国人児童の日本語支援に携わっておられる米田哲雄氏(子どもの日本語グループ)、田上栄子氏(トヤマ・ヤポニカ）に講師をお願いしました。

“地域の日本語学習支援教室で使える教材にどんなものがあるのか”、“漢字を嫌いにならない効果的な学習方法とは何か”、“算数の教科書における日本語表現を理解するには”など、具体的な学習方法を体験するなかで、「学校の勉強についていける日本語の底力をつけるために、生活言語の語彙量を増やすことが大切」、「人と比べるのではなく、その子にとって昨日より今日、今日より明日、と分かる言葉が増えていくことが大切」、「言葉が増えれば考える力が増える」、「できる範囲で無理をせず継続することが大切」などといった話に参加者は興味深く聞き入っていました。

新しい国際交流員よりご挨拶！

アレクサンドラ・コーツ（アメリカ）

皆さん、はじめまして。アメリカのネバダ州から参りました、アレクサンドラ・コーツと申します。今年の８月から富山県の国際交流員として仕事をさせていただくことになりました。７月までは富山国際大学付属高等学校でALTとして働きましたので、来県してからもう１年が経ち、富山の生活にも大分慣れています。

富山県は美しい自然に囲まれ、春霞の中の緑や、夏の海の美しさ、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季それぞれの美しさをながめ、楽しむことができるので感動しました。富山ののどかな風景はネバダ州に共通するものがあり、親しみを感じます。富山の人々も親切で人当たりがよいです。おかげさまで今まで楽しく過ごすことができました。

これから多くの日本人と外国人の間の知的交流や文化的交流を促進して、そして、多くのアメリカ人に富山の魅力と良さを知ってもらえるように頑張りたいと存じます。よろしくお願いします。

趙（ちょう）　泉禹（せんう）さん

上海は漁業と綿紡績が盛んな小さい街から、1930年代にかけては極東最大の都市として発展し“東洋のパリ”と言われるまでになりました。そして1980年代からは中国改革開放政策により、貿易、金融、科学技術、情報の最先端として中国の経済成長を牽引してきました。今では世界の文化が集まる都市としてその名を馳せています。2010年には「より良い都市、より良い生活」をテーマとした上海万博が開かれます。

直行便で行く大連！ ～中国北東

テーマパーク発現王国
2006年にオープンした大連の金石灘黄金海岸にある遊園地。遼寧省で最も大きい遊園地。パレードや花火などの催しも見物。

大
アジア最大
を誇る広場。
噴水に囲まれ
る。毎年国際

富山から
ー

今では富山から
連と上海。国際
陽出身）、趙さ
街の魅力、見と

上海アート ～芸術の香る街～

田子坊
下町の市場だったが、ここ数年で各国芸術家の工房がどんどん出来始めた。中国と西洋の文化が融合し、まるで国際博覧会を巡っているよう…

M50創意産業パーク
紡績工場を改造して再生した新しいアートスポット。大都会の喧騒から離れ蘇州川の川辺に静かに佇む。海外、中国各地から芸術家が工房を構える。

上海博物館
“天円地方”という中国古代からの世界観、宇宙観を象徴する外観。青銅器、陶磁器などのコレクションは有名で国内外に広く知られている。

上海の建築を楽しむ ～伝統と最先端の融合～

新天地
レストラン、ブティックなどが軒をつらねるファッショナブルなスポット。上海独特の“石庫門”建築美がここにある。

外灘18号
イギリス建築様式にモダンなインテリアを施してあり、中には一流ブランド店がひしめく。綺麗な銅製の大門は必見。

上海都市企画展示館
上海の都市計画と、発展の歴史を数々の巨大な模型で展示する。10年先の上海の全貌まで見ることができる。

上海ワールドフィナンシャル
センタービル
オフィス、レストラン等が入った
第一、世界第三の高さを誇るビル
界一高い展望台からの眺めは最高

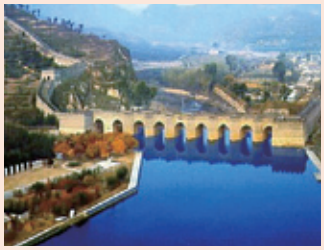
の“小パリ”～

大連星海広場
規模の45,000㎡の広さ
音楽が流れる大きな
れ夜はライトアップされ
祭ビール祭も開かれる。

遼寧省の世界遺産を楽しむ ～悠久の時の流れを感じる～

瀋陽故宮
1625年に建てられた清朝の前身、後金のヌルハチ、ホンタイジ、2人の皇帝の皇居。清朝では離宮として用いられた。敷地面積は60,000㎡。

昭陵(北陵)
昭陵は清朝2代目皇帝ホンタイジとその皇后の陵墓で、瀋陽の北側にあるので北陵ともいう。周囲は北陵公園になっている。



九門口水上長城
葫芦島市にある。万里の長城の一部を構成する城壁。九江河を跨ぐので「水上長城」と呼ばれている。

遼寧省のこんな所も見てみたい！

古生物化石博物館(朝陽市)
古生物化石が数多く発見され90年代から脚光を浴びている朝陽市。博物館では4Dの映画館もあり古代の生態環境を体感できる。

紅砂浜(盤錦市)
遼河河口に生息するマツナは春から秋に向けゆっくり緑から赤に染まる。30種の保護品種を含む236種もの鳥類が生息している自然保護区。

興城古城(葫芦島市)
1626年、寧遠城の戦いでヌルハチが砲撃を受け致命的な敗戦をしたという歴史の名所。明代からの城郭都市。葫芦島市には重要な遺跡が多くある。

いってみよう！
中国の旅ー

ら直行便で行くことができる大
際交流員の佟さん（遼寧省・瀋
ん（上海出身）がそれぞれの
ところを紹介します。

遼寧省は“中国の長男”と呼ばれてきました。古代からの豊かな歴史文化があり、近代では中国初の車、飛行機、船、ロボットが造られるなど、中国最大の重工業の街として栄えました。そして現代においてもさらなる経済成長を続けています。富山県にとっても一番古い友好提携先は遼寧省でした。友好提携は今年で記念すべき25周年を迎えます。この機会に皆さん是非遼寧省を訪れてみてください。見所がたくさんありますよ！

佟（とう） 立峰（りつほう）さん

ル
た中国
ル。世
高！

上海余山カトリック教会
ギリシャ、ローマ、ゴシックだけでなく中国伝統様式も用いた130年の歴史ある建築。４千人収容できる教会には中国各地から多くの信徒が訪れる。

～富山から大連、上海へのアクセス～

【飛行機】

富山空港ー大連周水子国際空港
週３往復　月・水・土　12：20発
問い合わせ先：中国南方航空公司富山支店
TEL 076-443-3895

富山空港ー上海浦東国際空港
週2往復　木・日　13：50発
問い合わせ先：上海航空富山地区代理店
TEL 076-428-5060

市町村職員等国際協力・交流実務者研修

日時：平成21年8月19日（水）
場所：（財）とやま国際センター　研修室A

今年５月に行われた担当課長会議に続き、富山県内の国際協力・交流に携わる実務者を対象に、財団法人とよなか国際交流協会事業課長の榎井　縁氏を迎えて「外国人と地域住民が互いに理解するために自治体ができること」というテーマでワークショップおよび講演をしていただきました。

ワークショップでは実際によくある事例をもとに、外国人の目線、あるいは第３者の目線に立って、在住外国人が抱える問題の解決法についてグループに分かれて考えそれぞれ発表しました。また、その後、とよなか国際交流協会の多文化共生に対する取り組みについてお話しいただきました。

講師の 榎井　縁 氏

JICAボランティアからの現地リポート

今回はパラグアイ共和国から届いた青年海外協力隊　古田 剛也さんからのお便りをご紹介します。

私は、青年海外協力隊の野菜隊員としてパラグアイのイタグア市にある農業生産者組合に赴任しました。現地では、労働者やカウンターパートと共に組合の発展に向けて活動を行っています。赴任してから１年が過ぎ、パラグアイの生活や言葉にも慣れ、これからの本格的な技術指導活動に向けて頑張りたいと思います。

暑い時には40℃を越えるここパラグアイの夏は、夏があまり好きではない私の悩みの種です。また、現地語のグアラニー語は理解するのが難しく、現地の人に教えられながら、少しずつ勉強しています。

古田　剛也さん
派 遣 国：パラグアイ共和国
職　　種：野菜栽培
派遣期間：平成20年6月～22年6月
配 属 先：コエジュ組合

毎日テレレという冷たいマテ茶を現地の人と一緒に回し飲みながら、文化や仕事のことについて話したり、実際に畑で一緒に仕事をしています。このテレレの場でみんな色々な話をするのですが、テレレの時間が長いのか、パラグアイ人が喋り好きなのか、私のいくつかの秘密もこのテレレの場で暴露されてしまいました…うかつに人前で秘密は喋れません!!大好きなパラグアイ料理に「タジャリン」という麺料理があり、ホームステイ先のお母さんが作るタジャリンは最高です☆パラグアイでは、誕生日にたくさんの友人を家に招いて朝まで語り合うのですが、その際に夜中にもかかわらず大音量で音楽を流すので、近所で誕生日会があるときはおちおち眠ることもできません。でもみんな楽しそうです。そんな喋り好きでのんびりしたパラグアイ人と残りの任期を楽しく過ごしたいと思います。

Voices from the world ～ドイツ連邦共和国 バート・ゾーデン～

世界の富山ファンからのメッセージ

フランク・ベンダーさん

（“ゲンキ アクアスポーツ アンド ヘルス”オーナー、“アソビ アクア トレードショップ アンド スポーツ”社長）

フランクさんと２人の娘さん

Q．今、どんなお仕事をされていますか?

A．私は故郷、バート･ゾーデンでスイミング･スクールを経営しています。バート･ゾーデンはフランクフルトから車で20分足らずの所にあります。スクールでは子供や大人向けの教室はもちろんのこと、赤ちゃんや、妊婦、シニアを対象にしたアクアフィットネスも行っています。スクールの名前を考えていて、ドイツ人にとって発音しやすく覚えやすい、そして、躍動的なイメージを与える“元気”という言葉がいいと思ってつけました。今日では当スクールはフランクフルト／ライン・マイン地方を代表するスクールになっていて、約700人の利用者がいます。ウェブサイトもあり、ドイツ語、英語、日本語で閲覧できるようになっています。（www.genki-sport.de）また乳幼児向けの浮袋などを販売する会社も経営しています。

Q．ドイツの近況について教えてください。

A．９月27日にドイツ連邦議会の選挙がありました。野外コンサートやお祭りなどの夏のイベントは終わりましたが、３ヶ月もすればクリスマスがやってきてどの町にもクリスマスの市場が開かれます。とても人気のある市場なので、富山の皆さん、是非この時期にドイツへ来て下さい！

３月のバート・ゾーデン

Q．富山とはどんな結びつきがありますか?

A．私の日本人の妻は高岡市出身で、私も高岡市にJETプログラムで２年間滞在していました。１年に１度はなんとか時間をつくって富山にやってきては、親戚、友人を訪ねたり、観光したり、日本食を味わったりしながら数週間過ごしています。

Q．最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A．私は富山の人、自然、美味しい食べ物を本当に愛しています！

こんな“国際交流”やっています！

～“ルーマニア民族舞踊の夕べ” 富山ルーマニア友好協会（富山市）～

～TICから助成した事業をご紹介します～

平成19年11月に発足した富山ルーマニア友好協会。ルーマニア人のオープンな心と、「おもてなしの心」を常に忘れない陽気な民族性を紹介したい、また、富山県とルーマニアの芸術・文化交流を盛んにしたい、という思いで日頃から活動しています。主に講演会、料理講習、ルーマニア親善ツアーなどの活動を行っています。

今年はルーマニアと日本の国交回復50周年になります。この「ドナウ交流年」を記念し、当協会ではルーマニア国立シビウバレエ団の監督、振り付け師、ダンサーの計11人を招聘しました。８月１日、北日本新聞社花火大会のプレイベントとして神通川ステージでメンバーによるルーマニア伝統舞踊が披露されました。会場は華やかで力強い舞踊に魅せられ、大変盛り上がりました。

作ってみよう！インドネシア料理

ナシゴレン

インドネシア出身
松原　リナ さん
お薦め料理！

ナシゴレンはインドネシアでとてもポピュラーな料理の一つです。一般家庭では、残りご飯を使い、朝ごはんによく食べます。味も家庭によって違います。料理ができない人も、よく屋台で食べます。ケチャップマニスはインドネシアの代表的な調味料の一つです。マニスは“甘い”という意味で、文字通り甘いソースです。皆さんもナシゴレンを作ってみませんか？

～作り方～

1．フライパンに油を熱し、細かく刻んだニンニクとネギを炒める。
2．香ばしいにおいがしてきたら細かく切った牛肉を入れてこんがりしてきたらケチャップマニスを入れ、炒める。
3．ご飯を入れ、全体に色がついたら塩、コショウで味をつけ、できあがり。

～材料（2人分）～

ご飯…… 茶碗2杯
牛スジ肉…… 100g
ネギ……50g
ニンニク…… 1片
ケチャップマニス… 大さじ4
サラダ油……少々
塩、コショウ……少々

＊卵、キャベツ、羊肉もよく使います。辛いのがお好きな方は唐辛子をいれてください。

TICからのお知らせ

これからの行事予定

生活支援日本語ボランティア養成講座 in 南砺
10月24日（土）～２月27日（土）10：15～12：15
全６回　毎月１回　土曜日　福光福祉会館

イングリッシュ・アドベンチャー
10月５日（月）～12月21日（月）
17：00～18：20（11/29, 12/７を除く）
（財）とやま国際センター研修室Ａ（インテックビル４階）

災害時の外国人支援日本語ボランティア養成講座
10月31日（土）10：00～17：00
高岡市生涯学習センター研修室503（ウィング・ウィング高岡内）

国際交流フェスティバル
11月７日（土）、８日（日）　富山駅前CiCビル内
ロシア語スピーチコンテスト（７日）、
外国人カラオケ大会（８日）等

日本語ボランティア・スキルアップ
―ボランティア・リーダーのための勉強会―
11月28日（土）13：30～16：30
環日本海交流会館（富山市内幸町６－６）

（財）とやま国際センター創立25周年記念2009
日本海学シンポジウム
「海とさかなと私たち～先人と世界に学び、未来へつなぐ～」
11月28日（土）13：00～16：40
スカイホール　インテックビル３階
・特別企画「新湊めでた」演奏
・講演「地域と地球から考える海の幸」講師：秋道智彌 他３本
・パネルディカッション「海とさかなと漁業の未来に向けて」

日本海学講座
10月８日（土）「キトキト新湊の魚と内川遊覧」射水市新湊地区
10月16日（金）、17日（土）
「北前船が運ぶ、海の幸～昆布屋さんの熱いおはなし～」
16日：東京ミッドタウンタワー７階
17日：いきいき富山館情報館
11月７日（土）「名人が手ほどき、フクラギ丸ごと料理教室
～親子で学ぶ富山の食文化～」富山県民会館料理室

（財）とやま国際センター 創立25周年!!

今年創立25周年を迎える（財）とやま国際センター。25周年を記念し、記念式典、記念講演を行います。皆さんのご参加お待ちしております。

日時：平成21年11月15日（日）14：00～16：15
場所：高志会館カルチャーホール

【記念式典】
表彰式
とやま国際草の根交流賞

【記念講演】
“普段着の国際協力を考える”
道傳（どうでん）　愛子（あいこ）（NHK解説委員）

＊参加するには事前の申込みが必要です。住所、氏名、電話番号を記入し、ハガキ、FAX又はＥメールでお申込みください。

（財）とやま国際センター賛助会員募集及び寄付のお願い

財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費（１口）個人会員　3,000円
団体会員　30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についてもよろしくお願い申し上げます。